

立ち読み版

「日本と世界経済の行方」

テレビ東京の解説キャスターが斬る

Interview

滝田 洋一 さん

たきた

よういち

日本経済新聞社編集委員・テレビ東京ワールドビジネスサテライト解説キャスター。1957年生まれ。1981年慶應義塾大学大学院修士課程法学研究科修了後、日本経済新聞社に入社。証券部、金融部、チューリヒ支局、経済部、米州総局編集委員。論説副委員長を経て2011年から編集委員。2018年4月からテレビ東京ワールドビジネスサテライト（WBS）解説キャスターに。リーマン・ショックの報道で、2008年度ポン・上田記念国際記者賞を受賞する。著書に『世界経済まさかの時代』、『今そこにあるバブル』、『世界経済 チキンゲームの罠』（いずれも日本経済新聞社）など多数。

【取材・文】 神原 哲也

日本記者クラブ会員。中小企業診断士。MBA。認定経営革新等支援機関。1982年早稲田大学法学部卒業後、日本経済新聞社に記者として入社。専門は経済、経営。日経各紙・テレビ東京・テレビ大阪などの報道部門、日経本社経営部門を経て2017年に独立。老舗・ファミリービジネスの「永続経営」と「人を大切に経営」の研究者。

【写真】 石田 紀彦

Introduction

滝田洋一さんは、現在、テレビ東京系列のニュース番組「ワールドビジネスサテライト（WBS）」に解説キャスターとして出演中の日本経済新聞社編集委員である。私が日経に入社した時からお付き合いがあり、日経でもっとも敬愛するジャーナリストでもある。

近著『世界経済 チキンゲームの罠』では、トランプ大統領の登場以降、米中貿易戦争など世界各地でチキンゲームが演じられていると指摘、実態を描写している。滝田さんが俯瞰する世界を読者と共有したいとお話を伺った。（神原）



「1分コメント」に苦闘中

神原：WBS30周年の番組改編で解説キャスターになられたのですが、解説キャスターとしては最初、何を感じましたか。

滝田：限られた時間の中でその日に起こったことをコンパクトに解説することが、いかに大変かを痛感しました。1年半近く経っても、その難しさを日々痛感しています。たとえば、1分でポイントを具体的に話さなければいけない。日経電子版の特ダネが入るなどで、番組ラインナップが当日にガラリと変わることも日常的で、取材など準備に

充てる時間も限られています。

神原：解説内容で気をつけていることは何ですか。

滝田：天気予報で雨あり、晴れあり、曇りあり——では何を言っているのかわからなくなります。対立する問題は論点を整理して、ある程度は「こうでしょう」と言うようにしています。

トランプ大統領に会いたい

神原：滝田さんは、番組の限られた時間の中で、だじゃれを交えてコメントしているのが印象的です。最近ですと、「（イラン問題をめぐり）原油の問題だけに油断は禁物です」と。

続きは雑誌で